

JIM ゲイナー炊き出しレポート

まず、この度の東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
そして、一日も早い復興と皆様のご健康を従業員一同心よりお祈り申し上げます。

あの未曾有の大震災のあと何もすることのできない自分たちは、もやもやする気持ちを押しさえきれないでいました。それを見た弊社社長の山本が「現地へ炊き出しに行く」ことを提案。いちレーシングチームがどれだけできるかわからないが、とにかく行こうという思いで始まった私たちの活動ですが、結果としていちレーシングチーム以上の規模で活動できました。それには多くの方々のご協力があったからに他ならず、皆様に感謝の気持ちも込めまして4週に渡る活動をご報告いたします。

1 週目 (3 月 2 6 、 2 7 日)

いざ、炊き出しに行くと言ったものの何をやらいい？メニューは？何人分作る？その前にどこで炊き出しをするのか？物資はどう集めるの？問題は山済みでした。

まずは行き先を決めようということで情報収集。仙台のレースでいつもお世話になっている小嶋さんに連絡を取ると、どうも仙台より北部が行き届いていない模様。どうせ行くのならまだ物資の行き届いていないところに行こうということで、候補に浮上したのが石巻市でした。その頃のネットの炊き出しマップを見ても誰も行ってない様子だったので石巻市に決定。社長の知人により市役所前で炊き出し許可を得て、場所に関しては解決。あとは物資の内訳、炊き出しの量など細かいことは行ってみたいとわからない。とにかく自分達が必要と思うものをリストに上げ、ガスコンロ、寸胴鍋、ポリタンク、テントなど借りれる物は借り、足りないものは買い、提供して頂くものは頂き、何とか荷物は揃いました。そしてメニューも簡単にできるうどん、とん汁、ご飯に決定。

次に支援物資と材料ですが、これはもう自分たちだけでは集めきれないので、知り合いに話したり、ディクセルさんを含むレース協賛各社様、エンジニアブログやマネージャーブログ、HPにも載せて、また鈴鹿のラジオ局 voice FM さんでも放送して頂いて、なるだけ多くの方に自分たちの活動を知っていただくことに努めました。こうして集まった支援物資は6 tトラックいっぱいにもなり、炊き出し材料もたくさん集まりました。集まった野菜は出発前日に工場で程よい大きさに切り、米はあらかじめ磨いでいきます。現地ではこのような作業をする暇はなかったのでやっておいて正解でした。



いよいよ第一便の出発ですが、ここで朗報が入りました。それまで宇都宮以北は緊急車両しか通ることのできなかつた東北道が全面解除になったのです。宇都宮から石巻まで下道で行くことを考えていた我々にとっては時間と体力に余裕ができるので一安心です。

話は余談になりますが是非伝えておきたいことが一点。この日までの東北道が緊急車両しか通行できなかつたのですが、この「緊急車両」というのは救急車や消防車だけではなく、警察に申請して「緊急」と書かれたプラカードさえもらえれば、通行可能な訳です。つまり、この目的というのは緊急に物資を運ぶトラックなどに使うためだそうです。そう考えると我々も物資を届けに行く立場ですし、炊き出しだって早く暖かいものを食べさせてあげたい。という意味からも申請するに妥当な理由付けができると思い、炊き出し企画書を持参して鈴鹿警察に行きました。結果、我々の要望は一切通らず、物資が載っていないただ人を運ぶだけの車両には「緊急」車両とは認められないとのこと。結して遊びに行くわけではないのに一切聞いてもらえなかつたことは非常に残念です。結果として当日に解除になったので事なきを得ましたが、もう少し配慮をして頂きたいと思いました。

現地到着後、市役所前の舗装地でも流されたヘドロを除去しないと設営できません。TV画面からは伝わらない異臭にも始め戸惑い、ここはつい最近まで普通の生活が営まれていた場所なのかと皆が心では思っていたでしょう。しかし、見学をしにきたわけではありません。黙々と準備にかかります。炊き出しの準備をしていると、間もなく人が集まりだしました。昼食の開始は12時から予定していましたが、雨の中長蛇の列。準備途中でしたが1時間前倒して昼食メニューの開始です。やはり皆さん満身に食事が出来ていない様子で、その日の明け方は雪も舞う程冷え込んでいたこともあり、暖かいうどんは大変喜んでいただけました。「ご馳走様でした」「おいしかったです」の声を聞いただけで、炊き出しに来て良かったと心から思いました。始めは「東北の人たちには濃い味にしないと」とか「関西風味は駄目だ」とか皆でいろいろ言っていましたが、あまり関係なかつたかもしれません。笑顔もたくさん見れたし、味よりも作ったことに「ありがとう」と言ってくれた気がして自分たちも逆に元気をもらいました。

最後に、集まった支援物資を渡波小学校避難所と女川の避難所にそれぞれ配布。しかし、物資の中には受け取ってもらえないもの（毛布、ジャンパーなど既に足りている）もあり、やは



り現地の要求と食い違う部分もありました。来てみないとわからなかったし、この点は次に生きることでしょう。

炊き出し量集計

3/26 昼：うどん600食 / 夜：とん汁&ご飯400食

3/27 朝：味噌汁&ご飯250食

炊き出しの反省点

- ・ 公の駐車場のため何人分用意したらいいかわからない
- ・ 避難所や自宅避難者の人数が把握できたほうが平等に渡るよう準備ができる
- ・ 調理器具をもっと用意する

炊き出し遂行人数

9人

2週目(4月2,3日)

1週目の反省点を生かすため、2週目は現地で聞いた実際に避難生活において必要なものを中心に支援を呼びかける。炊き出しにおいては自分たちのキャパが把握できたのでメニューを変更。土曜はカレーライス、日曜は4週目まで毎週とん汁とご飯に決定。

物資も材料もほしい物が具体的になったので、1週目より集まりがよくなってきました。そして目立たないところで大変なのが出発前日の物資の仕分け作業、材料切、米磨ぎですが、会社関係の方、地元の方、また近所の高校生も手伝いに来てくれるようになり、非常に助かりました。



この週は石巻市役所前ではなく、要請があったこともあり石巻市北上町にある避難所へ行くことに決定。実際に行った北上中学校には北上町の避難所を統括している本部もあり、いろいろと情報収集には最適なところでした。本部からの指示もあり、今回は北上中、橋浦小、長観寺、小泊、大指林業センター、小滝公民館の計6箇所の避難所に届けることになりました。北上中にベースキャンプを張り、そこで調理したものを各避難所に届ける作戦。こうすることによりベースキャンプでの炊き出し班、それを届ける配達班に分かれてより効率よく届けられます。



2週目ですが、場所が変わると段取りも変わってくるのでなかなかうまく行かないこともありましたが、皆で力を合わせ予定通りカレーライスととん汁を各避難所に届けられました。配達はベースキャンプで作った料理をそのまま鍋ごとラップ、ご飯はラッピングされたクーラーボックスに入れ、容器と箸を持って現地へ。そして現地で鍋ごと入れ替え、よそうのは避難所の方に任せます。はじめは道路事情も大変なことになっているし、各避難所への行き方もわからないので時間はかかりましたが、のちのちにはスムーズに実行できていい作戦だったと思います。

支援物資に関しては、本部が全て統括しているので本部の保管場所へ持っていただくだけ。トラックで各避難所に運べる道路事情ではないのでこの点は助かりました。物資の依頼は各避難所から本部に伝えられ、それらをなるべく平等に渡すよう統括しているようで、北上はしっかりしているという印象でした。



炊き出し量集計

4/2 昼：カレーライス800食 / 夜：カレー250食（北上中のみ）

4/3 朝：とん汁&ご飯800食

炊き出し遂行人数

14人

3週目（4月9，10日）

この週も場所は同じ石巻市北上町です。できることならそのほかの被災地にも行きたい気持ちはありましたが、前回、前々回の教訓から場所を変えるとその土地の情報がゼロからなので効率が悪いことと、我々以外の炊き出しボランティアが北上に入っていないとの情報もあり同じところに行くことにしました。炊き出しを届ける避難所は以下の通り。北上中学校、長観寺、小泊、相川子育て支援センター、大指林業センター、小滝公民館です。

今回のメニューは牛丼、うどん、とん汁。またたくさんの方にお手伝いして頂き、仕込みも万全でやってまいりました。支援物資も多くの方に引き続き協力してもらい、6tトラックには入りきらず前回同様バンにも満載になるほどです。



ベースキャンプでの設営も慣れてきて、牛丼の調理もそれ程手間がかかるわけでもなく、順調に仕度、炊き出しを行いました



一週間経って瓦礫の撤去は進んでいましたが、人命救助、遺体捜索もあるからでしょうか、まだまだ道路状況はひどかったです。しかし、一部のところでは電柱を立てる作業をしており、震災から一ヶ月でようやく電気を通そうというところでした。水道とガスはまだまだ先のようです。

炊き出し量集計

4/9 昼：牛丼800食 / 夜：うどん200食（北上中のみ）

4/10 朝：とん汁&ご飯800食

炊き出し遂行人数

13人

4週目（4月16、17日）

この週で当初の予定通りひとまず終了になります。最後も行き先は同じく石巻市北上町。避難所は前回よりも増え、北上中、はまぎく、長観寺、小室大室、小泊、相川子育て支援センター、大指林業センター、小滝公民館の9箇所。

今回も本当に沢山の支援物資が集まり、工場での炊き出し準備の応援にも十名以上駆けつけていただきました。皆さん仕事も家事もある方ばかりです。次の日も各々の仕事があるにも関わらず、夜の12時近くまで手伝って頂いて本当に感謝です。

今回のメニューは土曜日にミートソーススパゲティだったので、ソースは全て鈴鹿で作っていきました。現地での作業は麺を茹でることとソースを湯煎して温めるのみにするためです。普通に考えると簡単で栄養価も高い汁物ですが、避難所の方に違ったものを食べさせてあげたいという思いから、ミートスパゲティに決定。家庭で作るミートスパゲティだとそんなに手間ではありませんが、1000人分のミートソースとなると玉ねぎをみじん切りするだけでも相当な労力。それでも喜んでいただけるのなら頑張ろうということで作りました。結果、避難所に持っていくと皆さんのテンションは上がっていたし、私たちも3週ここに来ていて仲良くなったこともあり一番の笑顔を見ることができました。。





日曜朝最後の炊き出しを持って別れの挨拶をすると涙を流して感謝されました。あまり「頑張る」という言葉は使わないほうが良いと聞いていましたが、もうしばらくは来ることが出来ないし、あとは一日でも早く復興することを祈るだけなので、最後は「頑張ってください」としか言えませんでした。

先週支援物資を蓄える本部の倉庫は既にキャパを越えていたと思ったら、今週はものすごく巨大なテントが建てられていたことにびっくり。その規模はサッカーコートを少し小さくしたくらいのテントで、既に半分くらいは物資で埋め尽くされておりました。結構沢山あるという印象でしたが、その物資らは以前からあったものを移動しただけで、その時欲しい物はなかなか直ぐに来ないようです。我々も3週目に聞いていた物を中心に集めてきたのでその迅速さに本部の方はとても驚いていました。やはり民は何も制約なく行動に移せる点では官より優れているという印象です。



4週目の瓦礫撤去状態は3週目よりかなり進んでいて、大きな重機さえ入れるようになれば撤去は早いと思いました。ただ、行方不明者の搜索もあるでしょうから、重機ばかり使えないのも現状でしょう。とは言え自衛隊は凄いです。

北上中はこの頃には電気は回復していましたが、水道が未だでした。本部曰く水道を通すことはできるが、下水が回復していないから水を通せないとのこと。まだまだ問題は山済みです。



炊き出し量集計

4/16 昼：ミートスパゲティ1000食 / 夜：カレーライス250食（北上中のみ）

4/17 朝：とん汁&ご飯1000食

炊き出し遂行人数

13人

総括

今回の活動に対して当初懸念していたのは、みんな始めの頃は頑張ってくれてくれるけど、4週間も継続するのかな？という不安がありました。徐々に尻すぼみになるのではないかと心配していました。しかし「いい意味」でそれは裏切られました。人が人を誘い、また別の人に呼びかけてもらいどんどん、どんどん支援物資が増量。今回の活動を通して、ただ単純に炊き出しに行くのではなく、そこに行く私たちを支える仲間がいて、健全な生活をしていても一人では生きていないと実感しましたし、人の温かみを感じながら炊き出しができました。現地の方もお腹が減っていても順を争うわけでもなく、きちんと並ばれる姿など「日本人の秩序」が現れていたし、みんな家が無くなって悔しいのに頑張るしかないという姿は心撃たれました。この気持ちがある限り、必ずや日本はまた元に戻れると心から信じていますし、またそうなるよう我々も引き続き自分のできる範囲で助け合っていかなければなりません。

今回物資を支援していただいた皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。そして仕分け作業、野菜の皮むきなど夜遅くまで手伝っていただいた方に心よりお礼申し上げます。更には今回の我々の活動にあたってご支援していただいた会社関係者様、同業者様、個人様にも改めて篤く御礼申し上げます。

そしてまたJIMゲイナーとして炊き出しに行くときはご協力していただければ幸いです。

この度は本当にありがとうございました。

期間中に集まった支援物資

日用品

トイレトーパー、ティッシュ、生理用品、大人用おむつ、子供用おむつ、歯ブラシ、ウェットティッシュ、衣服類、下着、作業つなぎ、傘、長靴（男女用）、カップ、毛布、タオル、炊き出し用プラ容器、サランラップ、紙コップ、箸、水、トイレ用品、パンク修理キット

食材

お米、豚肉、大根、玉ねぎ、ニンジン、ジャガイモ、里イモ、白菜、ほうれん草、ネギ、卵、味噌、塩コショウ、マヨネーズ

追加持参品

ガス炊飯器、ガスコンロ、寸胴鍋、LPガス、燃料、500 & 200リッター給水タンク、各種調味料、うどん、氷、こんにゃくなどの炊き出し用材料

***現地で要望が多かった物資**

ドライシャンプー、体を拭くもの（ギャツビーのような水を使わず拭けるもの）、旅行セット（歯ブラシなどいろいろ入っているもの）、髭剃り&シェイバー、眉剃り、食器セット、カップめん、洗剤、トイレ掃除用品、女性用下着

報告：JIMゲイナー 土井崇